Canon EF LENS

EF100-400mm f/4.5-5.6L IS USM

ULTRASONIC

IMAGE STABILIZER

使用説明書

キヤノン製品のお買い上げ誠にありがとうございます。

キヤノンEF100–400mm F4.5–5.6L IS USMは、手ブレ補正機能を備えた、EOSカメラ用高性能望遠ズームレンズです。

- ISはImage Stabilizer（手ブレ補正機能）の略称です。
- USMはUltrasonic Motor（超音波モーター）の略称です。

特長

1. シャッター速度換算で、約2段分*の手ブレ補正機能を備えています。また移動する被写体の流し撮りに効果を発揮する手ブレ補正モード2も備えています。
2. 蛍石レンズとスーパーUDレンズを採用することにより、優れた描写性能を実現しています。
3. 超音波モーター（USM）搭載により、高速で静かなオートフォーカスを実現しています。
4. オートフォーカスモード（ONE SHOT AF時）のまま、合焦後にマニュアルでピント調整ができます。
5. 直進ズームリングの操作感の調整や、任意の焦点距離での固定ができます。
6. エクステンダーEF1.4× II/EF2× IIが使用できます。

* ［1/焦点距離］秒を基準にしています。
一般に手ブレを防ぐためには「1/焦点距離」秒以上のシャッター速度が必要といわれています。

⚠ 安全上のご注意

- **レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。**視力障害の原因となります。
  特に、レンズ単体で直接太陽をのぞかないでください。失明の原因になります。
- **レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラを日光の下にレンズキャップを付けないまま放置しないでください。**太陽の光が焦点を結び、火災の原因となることがあります。

取り扱い上のご注意

- **レンズを寒いところから暖かいところに移すと、レンズの外部や内部に水滴が付着（結露）することがあります。**そのようなときは、事前にレンズをビニール袋に入れて、周囲の温度になじませてから、取り出してください。また、暖かいところから寒いところに移すときも、同様にしてください。
- 直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。**レンズの故障の原因になることがありますので、このような場所にレンズを放置しないでください。**

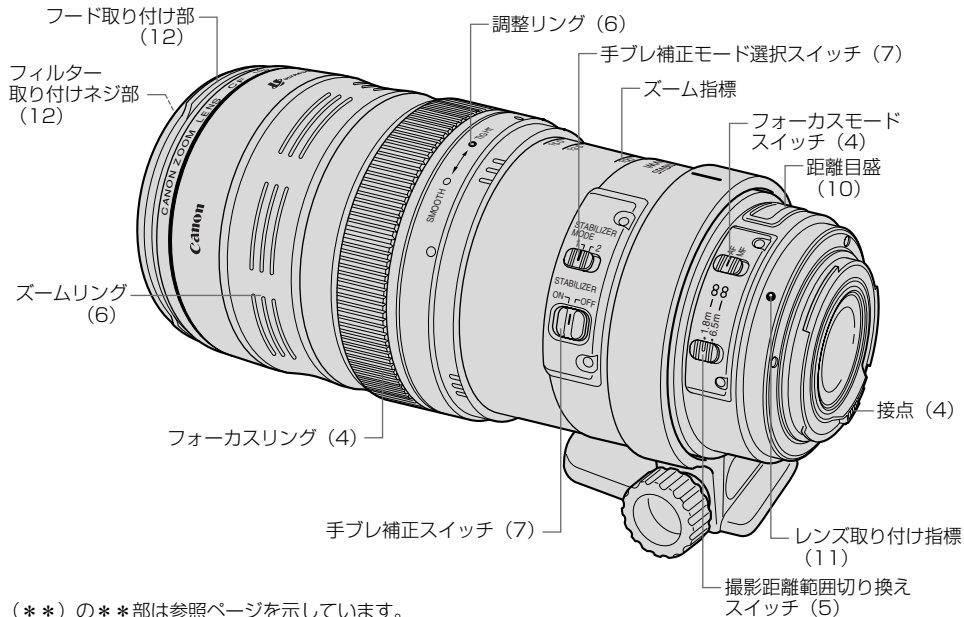
⚠ EOS-1N RSで撮影するときのご注意

- このレンズをEOS-1N RSで撮影するときは、－2/3段または－1/2段分の露出補正をしてください。

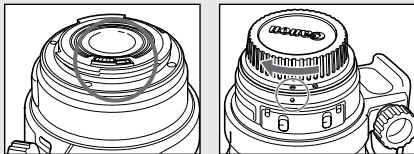
本文中のマークについて

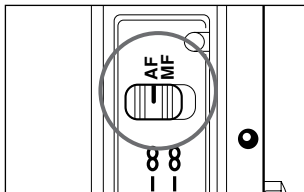
 撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項などが書いてあります。

 基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書いてあります。

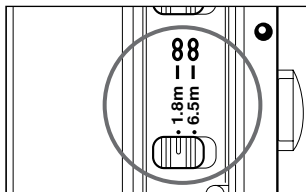
各部名称

（＊＊）の＊＊部は参照ページを示しています。

1. レンズの着脱

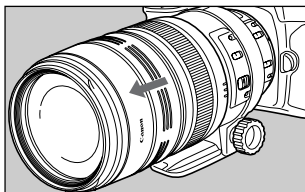
レンズの着脱方法については、カメラの使用説明書を参照してください。

- レンズを外したときは、接点やレンズ面を傷付けないように接点を上にして置いてください。
- 接点に汚れ、傷、指紋などが付くと、接触不良や腐食の原因となることがあり、カメラやレンズが正確に作動しないことがあります。
- 汚れや指紋などが付着した場合は、柔らかい布で接点を清掃してください。
- レンズを外したときは、ダストキャップを付けてください。取り付けは、図のようにレンズ取り付け指標とダストキャップの○の指標をあわせて時計方向に回します。取り外しは、逆の手順で行います。

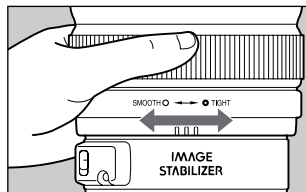
2. フォーカスモードの設定

オートフォーカス（AF）で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをAFにします。
マニュアルフォーカス（MF）で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをMFにし、フォーカスリングを回します。フォーカスリングは、フォーカスモードに関係なくいつでも動かせます。

カメラのAFモードがONE SHOT AFのときは、AFでピントを合わせたあと、シャッター半押し状態でフォーカスリングを回すと、任意にピントを調整できます。（フルタイムマニュアルフォーカス）

3. 撮影距離範囲の切り換え

1.8m-∞または6.5m-∞の撮影距離範囲をスイッチで選べます。撮影距離に応じた設定にすることで、AF作動時間が短くなります。

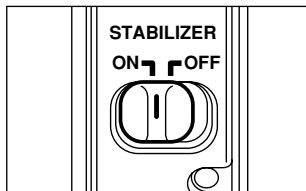
設定した撮影距離範囲外からAFを行うと、境界位置で止まることがありますが、故障ではありません。シャッターボタンを半押ししなおしてください。

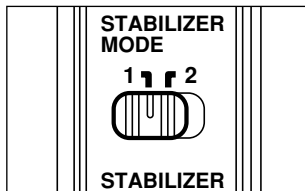
4. ズーミング操作感の調整

ズームリングを前後させてズーミングします。

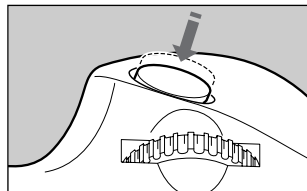
- ピント合わせはズーミングしたあとで行ってください。ピントを合わせてからズーミングすると、ピント誤差が生じることがあります。
- レンズ先端が不用意に伸びることを防ぐため、撮影時以外はズームリングをある程度重く調整してください。

ズームリングの作動操作感（作動の重さ）は、任意に調整することができます。調整は、フォーカスリングを保持したまま、調整リングを回して行います。

 「SMOOTH」の方向に回すと軽くなり、「TIGHT」の方向に回すと重くなります。「TIGHT」の方向に止まるまで回すと、ズームリングを固定することができます。

5. 手ブレ補正機能

手ブレ補正機能はフォーカスモードがAF/MFどちらの場合でも使用できます。

1 手ブレ補正スイッチをONにします。

- 手ブレ補正機能を使用しないときはスイッチをOFFにします。

2 手ブレ補正モードを選択します。

- MODE 1：すべての方向の手ブレを補正します。主に静止した被写体の撮影で効果を発揮します。
- MODE 2：水平方向の流し撮りのときは上下方向の手ブレ、垂直方向の流し撮りのときは左右方向の手ブレを補正します。

3 シャッターボタンを半押しすると、手ブレ補正機能が働きます。

- ファインダー像が安定したことを確認し、シャッターボタンを全押しして撮影します。

6. 手ブレ補正機能の有効な使い方

このレンズの手ブレ補正は、次のような条件の手持ち撮影で効果を発揮します。

●MODE 1

ON

OFF

- 夕景や室内など、薄暗い場所
- 美術館や舞台など、ストロボ撮影が禁止されている場所
- 足場が不安定な状況
- その他、速いシャッター速度が使用できない状況

●MODE 2

ON

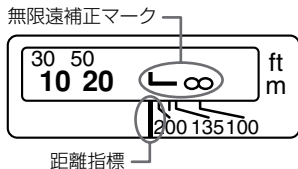
OFF

- 移動する被写体を流し撮りする場合

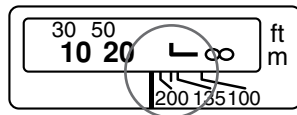
手ブレ補正機能の有効な使い方

- 被写体が動いてしまう「被写体ブレ」は補正できません。
- 三脚を使用する場合は手ブレ補正スイッチをOFFにしてください。ONにすると手ブレ補正機能が誤作動することがあります。
- バルブ（長時間露光）撮影のときは手ブレ補正スイッチをOFFにしてください。ONにすると手ブレ補正機能が誤作動することがあります。
- 次のような状況では、手ブレ補正効果が十分に得られないことがあります。
  - ・大きく揺れ動く乗り物から撮影するとき
  - ・MODE 1で、カメラを大きく動かして流し撮りをするとき
  - ・MODE 2で、流し撮り以外の撮影をするとき
- 手ブレ補正機能を使用すると、通常より電力が必要なため、撮影可能枚数が少なくなります。
- シャッターボタンから指を離しても、約2秒間は手ブレ補正が作動しています。この間はレンズを外さないでください。故障の原因になります。
- EOS-1V/HS, 3, 7, 7s, 55, Kiss III, Kiss III L, IX E, D30のセルフタイマー撮影では、手ブレ補正機能は作動しません。

- 一脚を使用した場合も、手持ち撮影と同等の手ブレ補正効果があります。
- 手ブレ補正機能はエクステンションチューブEF12 II/EF25 IIを使用しても作動します。
- エクステンダーEF1.4× II/EF2× II使用時は、次のカメラで手ブレ補正が使用できます。
  EOS-1Ds Mark III, EOS-1Ds Mark II, EOS-1Ds, EOS-1D Mark III, EOS-1D Mark II N, EOS-1D Mark II, EOS-1D, EOS 40D, 30D, 20D, 20Da, 10D, 5D, Kiss X2, Kiss デジタル X, Kiss デジタル N, Kiss デジタル, D60, D30, EOS DCS1, DCS3, D2000, D6000, EOS-1V/HS, EOS-1N/DP/HS/RS, 3, 7, 7s, 55, 3000, Kiss, New EOS Kiss, Kiss III, Kiss III L, Kiss 5, Kiss 7, Kiss Lite, IXE, IX50
- カメラによっては撮影後などに像ゆれが発生することがありますが、撮影への影響はありません。
- カメラのカスタム機能でAF作動操作を変更したときは、変更後のAF作動ボタン操作でも手ブレ補正機能が作動します。

7. 無限遠補正マーク

温度変化によるピント移動を補正するため、無限遠（∞）位置に余裕を持たせてあります。
常温の無限遠位置は、Lマークの縦線と距離指標が合うところです。

無限遠の被写体に、MFで正確にピントを合わせる場合は、ファインダーで確認しながらフォーカスリングを回してください。

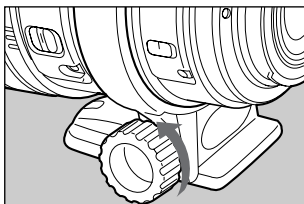
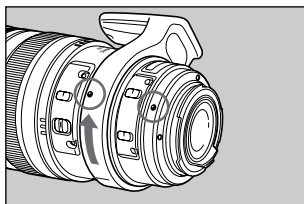
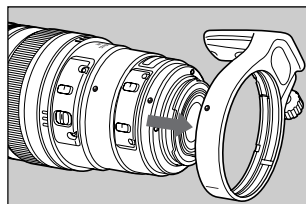
8. 赤外指標

赤外指標は、白黒赤外フィルム使用時のピントを補正するためのマークです。MFでのピント調整後に、距離目盛を赤外指標の位置までずらして撮影します。
200と135の間の指標は150mmです。

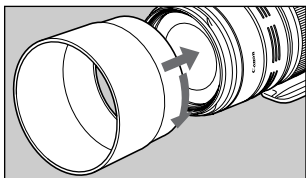
赤外フィルムが使用できないEOSカメラがあります。お手持ちのEOSカメラの使用説明書で確認してください。

- 赤外指標は800nmの波長が基準になっています。
- 焦点距離によって補正量が異なりますので、表示されている焦点距離を目安に補正を行ってください。
- 赤外フィルムに記載されている注意事項も必ずお読みください。
- 赤フィルターを使用してください。

9. 三脚座の使用方法

レボルビング（回転）
三脚座の画面切り換えロックつまみをゆるめると、カメラごと任意に回転させて画面の縦位置と横位置が変えられます。

着脱
取り外しは、カメラを外し次の手順で行います。取り付けは逆の手順で行います。

1 ロックつまみをゆるめます。

2 三脚座を回転させて、三脚座の取り付け指標とレンズの取り付け指標を合わせます。

3 三脚座をマウント方向に外します。

10. フード

レンズフードET-83Cは、有害光線をカットするとともに、雨・雪・ほこりなどからレンズ前面を保護します。フードをフード取り付け部にあわせ、矢印の方向に回して確実に取り付けてください。収納時にはフードをレンズに逆向きにかぶせることができます。

- フードが正しく取り付けられていないと、撮影画面にケラレが生じることがあります。
- フードの取り付けや取り外しをするときは、フードの根元を持って回してください。フードの先の方を持つと変形して回らなくなることがあります。

11. フィルター（別売）

フィルターは、レンズ先端のフィルター取り付けネジ部に取り付けてください。

- 偏光フィルターはキヤノン円偏光フィルター（77mm）を使用してください。
- 円偏光フィルターの調整操作は、フードを外して行ってください。

12. エクステンションチューブ（別売）

エクステンションチューブEF12 II/EF25 IIを使用して拡大撮影ができます。撮影距離範囲と撮影倍率は次のようになります。

		撮影距離範囲（mm）		撮影倍率（倍）	
		近距離側	遠距離側	近距離側	遠距離側
EF12 II	100mm	755	1122	0.19	0.12
	400mm	1569	13224	0.25	0.03
EF25 II	100mm	544	666	0.35	0.27
	400mm	1393	6491	0.31	0.07

正確なピント合わせのため、MFをおすすめします。

13. クローズアップレンズ（別売）

クローズアップレンズ500D（77mm）を使用して拡大撮影ができます。撮影倍率は0.80～0.21倍になります。

- クローズアップレンズ250Dは使用可能なサイズがありません。
- 正確なピント合わせのため、MFをおすすめします。

14. エクステンダー（別売）

エクステンダーEF1.4× II/EF2× II使用時のレンズ仕様は次のようになります。

項目			EF1.4× II使用時	EF2× II使用時
焦点距離（mm）			140–560	200–800
絞り数値	1/3段表示	100mm	F6.3–45	F9–64
		400mm	F8–57	F11–81
	1/2段表示	100mm	F6.7–45	F9.5–64
		400mm	F8–54	F11–76
画角	対角		17°35'〜4°25'	12°〜3°5'
	垂直		9°50'〜2°25'	7°〜1°40'
	水平		14°40'〜3°40'	10°〜2°35'
最大撮影倍率（倍）			0.28	0.41

- レンズにエクステンダーを取り付けた後、カメラに取り付けてください。取り外しは逆の手順で行ってください。先にカメラを取り付けると、まれに誤作動することがあります。
- エクステンダーEF1.4× II使用時は、MFになります。ただしカメラがEOS-1Ds Mark III、EOS-1Ds Mark II、EOS-1Ds、EOS-1D Mark III、EOS-1D Mark II N、EOS-1D Mark II、EOS-1D、EOS-1V/HS、EOS-3のときは、中央部測距点でのみAF撮影ができます。
- エクステンダーEF2× II使用時は、MFになります。
- エクステンダーは重ねて使用できません。
- EOS 5で撮影するときは、EF1.4× IIでは－1/2段分、EF2× IIでは－1段分の露出補正をしてください。

主な仕様

焦点距離・明るさ	100－400mm F4.5－5.6
レンズ構成	14群17枚
最小絞り	*F32－40
画角	対角 24～6°10’、垂直 14～3°30’、水平 20～5°10’
最短撮影距離	1.8m
最大撮影倍率	0.2倍（400mm時）
画界	約120×180mm（1.8m時）
フィルター径	77mm
最大径×長さ	92×189mm
質量	1380g
フード	ET-83C
レンズキャップ	E-77U
ケース	LZ1324

* 数値は絞り表示が1/3段ごとの場合です。1/2段ごとの場合はF32-38となります。

- レンズの長さはマウント面からレンズ先端までの寸法です。
  キャップおよびダストキャップをつけたときの長さは表示寸法+21.5mmになります。
- 大きさ・質量は本体のみの値です。
- 絞り値はカメラ側で設定します。ズーミングによる絞り値の変化はカメラが自動的に補正します。
- 記載データはすべて当社基準によります。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において、製造終了後7年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店または、キヤノンサービスセンターにお問い合わせください。
3. 修理品をご送付の場合は、撮影された画像を添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノンEFレンズホームページ
canon.jp/ef

キヤノンお客様相談センター
050-555-90001（直通）

受付時間〈平日〉9：00〜20：00〈土/日/祝〉10：00〜17：00〈1/1〜3は休ませていただきます。〉

※ 海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は03-3455-9353をご利用ください。

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。